

身近な環境をグローバルな視点で学ぶ
おきなわ環境教育プログラム集
(社会教育編)



◎ 沖 縄 県

令和2年(2020年)3月

はじめに

島嶼地域である沖縄県は、日本の国土面積の1%にも満たない地域ですが、世界でも稀に見るすばらしい自然環境を有しています。ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコ、ヤンバルテナガコガネなど、世界で本県だけに生息する固有の動物の他、大小160もの島々を取り囲む豊かな海に、多くの種類のサンゴが見られます。

この豊かな自然を次世代に継承し、維持していくためには、県民一人ひとりの心掛けが重要です。学校教育現場をはじめ、地域社会や家庭、事業者など様々な場面において「環境教育」の機会を創出し、『持続可能な社会』の実現を目指し、子どもから大人まで、各主体の連携の元、地域全体で環境保全に取り組む必要があります。

環境教育に関する法律として「環境教育等による環境保全の取り組みの促進に関する法律（平成15年法律第130号）」が2012年に改正施行され、沖縄県では、2013年に「第2次沖縄県環境基本計画」、2014年に「沖縄県環境教育等推進行動計画」が策定され、2018年度に両計画の改正を行いました。行動計画では、環境教育等で育むべきこととして、「未来を創る力」と「環境保全のための力」をあげています。これらの力を育み、環境を考えて行動することにより、21世紀ビジョンに掲げている将来像の一つである『沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島』の形成を目指しています。

沖縄県では、「沖縄県環境教育プログラム（小学校編）」、「沖縄県環境教育プログラム（中学校編）」、「沖縄県環境教育プログラム（高等学校・環境団体編）」を2003年度から2005年度にかけて作成し、プログラムの普及を図ってきました。しかし、これらの作成から10年以上が経過しており、さらに昨今の環境問題や本県の自然環境を取り巻く状況も変化していることから、時代に即した内容とするため、プログラムの改訂を行い、「おきなわ環境教育プログラム集（学校教育編）」、「おきなわ環境教育プログラム集（社会教育編）」を作成しました。

このプログラム集は、沖縄の自然環境や環境問題等について考えるツールとして、学校や地域社会において多くの方々に活用してもらうことを目的とすると共に、より良い未来の構築に向けて、「私たちが出来ることを自ら考え、行動・実践できる人」の育成を目指しています。

目次

【社会教育編】

●第1章 ● 「おきなわ環境教育プログラム集」について（概要）

1. 今求められる環境教育とその推進	3
2. 沖縄県における環境教育プログラム改訂の経緯	8
3. プログラムの特徴	9
4. 本冊子の利用方法	10
5. 安全のために・環境配慮事項	14

●第2章 ● 環境教育プログラム

1. <u>暮らし</u>	19
< 食 >	
①チラシ探偵団	21
②カーボンフットプリントってなんだろう？	27
③エコロジークッキング	33
< 地球温暖化 >	
④地球温暖化を体験しよう	39
⑤CO ₂ CO ₂ （コツコツ）ダイエット	45
⑥ウェビングで地球温暖化を考える	49
< 大気環境 >	
⑦メッツチャレンジ	53
⑧エコカー探検隊	59
⑨きれいな空気で満天の星空を	65
< 防 災 >	
⑩ダンボールトイレを作ってみよう	73
⑪家族で考える台風対策	77
⑫わが家の防災マップ	83
2. <u>ごみ</u>	89
< 廃棄物 >	
⑬海岸清掃をやってみよう	91
⑭意外なところにプラスチック	97
⑮分けたらどうなる？ごみの分別	103
< 資 源 >	
⑯エコロジーマーケットを開催しよう	109
⑰捨てるものが役に立つとき	115
3. <u>水</u>	121
< 水循環 >	
⑱水の旅	123

<水利用>	
⑱水の使用量調べ	129
⑲パックテストで水質調べ	135
<世界の水事情>	
⑳安全な水が飲めるのは？	141
4. 自然	147
<生きもの>	
㉒バタフライウォッチングで緑の環境を診断しよう	149
㉓バードウォッチングで鳥が暮らす環境を考えよう	159
㉔沖縄のどんぐり探検	169
㉕あなたは海の何番地？	173
<共生・多様性>	
㉖地域固有の生きものを探そう	179
㉗世界に誇れるやんばる・西表の自然	187
㉘自然をつなぐネットワーク「ピオトープ」を作ろう	195
<自然と暮らし>	
㉙沖縄の季節を探そう	201
㉚沖縄の自然と暮らしを考えよう	207
<外来生物>	
㉛沖縄の中の外国を探そう	213
㉜地域の猫調査隊	219
5. 五感	223
< 聞 く >	
㉝身近な鳥の声を聞いてみよう	227
< 触 る >	
㉞身近な植物を触ろう	233
< 見る・嗅ぐ・味わう >	
㉟身近な自然を見よう！嗅ごう！味わおう！	239

●第3章● 参考資料

<くらし>	
①食料自給率	249
②フード・マイレージ（食料の総輸入量・距離）	251
③エコロジカル・フットプリント	252
④フェアトレード	254
⑤地球の大気	256
⑥地球温暖化	257
⑦カーボン・オフセット	263
⑧未来のエネルギー	265
⑨車社会	268
⑩沖縄の自然災害	271

< ごみ >

- ⑪ 沖縄のごみ・リサイクル事情 273
- ⑫ 海洋ごみ 278

< 水 >

- ⑬ 地球の水 279
- ⑭ 沖縄の水 281
- ⑮ 仮想水(バーチャル・ウォーター) 288

< 自然 >

- ⑯ 地球と生命の歴史 290
- ⑰ 島の形 291
- ⑱ 沖縄の土 294
- ⑲ 沖縄の森や林 298
- ⑳ 沖縄の野鳥 300
- ㉑ サンゴとサンゴ礁 302
- ㉒ 生物多様性 305
- ㉓ 琉球の生き物たち 307
- ㉔ 天然記念物と絶滅危惧種 308
- ㉕ 沖縄の季節 310
- ㉖ 沖縄の自然と暮らし 313
- ㉗ 沖縄の外来種問題 314
- ㉘ 自然公園及び自然観察マップ 316

< その他 >

- ㉙ 観光と環境負荷 317
- ㉚ 沖縄の基地 318
- ㉛ 環境保全に関連した法律など(主なもの) 320

●第4章● 環境教育情報(環境教育関連施設、団体等)

1. 環境教育実施団体・事業者 327
2. 環境学習支援施設 330
3. ウェブサイト 332

●第5章● 資料編

1. 用語集 337
2. 参考引用文献・資料 339
3. 沖縄県環境教育プログラム改訂・検討委員会 340